

ル奥行一・五メートル高さ二メートル位の大きさにし、主として先生が作る。この大きさは子供を本位にし決めた。次々さまざまな玩具をこしらへて陳列して置く。最後に自分の組或は全幼稚園を相手として賣り買ひ遊びをしてこの遊びの期待効果を全うする様にする。

この主題の期待効果は期待効果欄にある通り、各種材料による製作、陳列に依つてものゝ整理、賣買遊びに依る社會生活興味、觀察。

繼續作業時間は九週間。

此週は

鳥の玩具

蛙の玩具

(以下作り方は凡て手技の項参照)

唱歌遊戯

第四週

遊戯 五回

第五週 おもちや屋つゞき

魚

國旗

てんとう蟲

第六週 おもちや屋つゞき

きせかへ人形

でんく蟲

第七週

首かざり

こま

日の丸行進

小學校と合同であるからには、迷惑をかけない様に殊

に出入、集り方、歩行等についても或る程度まで統制された訓練が必要である。年少組には最初さうか知らぬ思つたが、實際に幾度も練習してゐる中には餘り苦勞もなく小學校について出来る様になる。  
なるべく年長組と一緒に練習の機會を多くする。  
遊戯の練習

## 第五週

遊戯 五回

運動會の練習

運動會は全校合同で舉行されるので、與へられた時間内で總べてが進行出来る様に準備もし、練習もしなければならぬ。

「オサル、ヒヨコ、蓮の花」をそれ／＼二回宛して、それに運動場への出入の時間を入れて十分間で出来る様に、全幼児が集つて幼稚園の庭又は本校グラウンドに於て練習する。

グラウンドへ行つたついでにかけっこもしやう。スタートでは合圖より先きにミビ出さない様に、決勝點前で速

力をゆるめてしまはないで終りまで一生懸命に駆け出すこと等注意をする。  
まだ秋の陽ざしも強いので、外へ出る時には必ず帽子をかぶらせること。

## 第六週

運動會の練習

日の丸行進、遊戯、かけっこはそれ／＼十分以内で出来る様になる。

全校の運動會豫行演習

運動會(於明治神宮外苑)

いよく運動會の當日、幼児は午前八時集合、午前十一時三十分解散。

プログラム作成の時に、幼稚園は人知れぬ苦勞がある。わづか三つの種目を配置するにも、先づ用便に差支へない様に、飽きさせない様に、又見物の方々が揃つた頃に可愛いのをする様に云ふ注文もあつて、なか／＼の苦心だ。準備として、遊戯及び日の丸行進の圓の縁をはつきり描いて置く。

かけつこは轉んでも危くない様に芝生の上でする。轉び係まで控へてゐるから大丈夫。途中にボールを幼児の數だけころがしておいて、それを拾つて馳ける。馳けた子供はみんな御褒美にそれをもらふ。その上一着から三着まで本校と同様に賞としてメダルを頂く事になつてゐる。

遊戯は眼鏡形に二つの圓に分かれてする。皆事故もなく無事に済むまほつこする。

## 第七週

唱歌 三回

カケッコ(エホンシヤウカ)

「アカフレ シロフレ……」の所は、カケッコの嚙援を  
するつもりで元氣よく節をつけしないで云はせる。

ねこみねすみ(幼稚園唱歌)

遊戯 三回

ねこみねすみ(記事参照)

子供たちの大好きなあそびの一つ、先生も子供も一緒に  
なつて面白く遊ぼう。

## 第八週

唱歌 二回

ギッコン バッタン(エホンシヤウカ)

大きなお日様(をさなごのうた)

運動會も済んで次第に子供たちの氣持も落付いて来る。

靜かに歌ふ様な時を與へたい。

明治節の歌

先生が歌つて靜かに聞かせる。

カケッコ 戸倉ハル氏振付  
エホンシヤウカ

準備 一列圓形を作る

アカボウ

各々右手にて右隣の者の左肩を軽く二回たたく、

顔もその方にむける。

シロボウ

今度は各々左手にて右隣の者の右肩を軽くたたく。

カケッコダ

元氣よくかけ登で手をよく振り乍ら

自分の周圍を一周りする、

ウラノハタケデカケッコダ

圓周に沿つて元氣よくかけ登でゆく。

アカフレ、シロフレ

圓心を向き、立つたまゝ両手を高く上にあげ、左右にふる。

アカフレ、シロフレ

拍手四回行ふ、

ねここねずみ

戸倉ハル氏振付  
幼稚園唱歌

準備 一列の圓形を作る、豫め猫になる子供一人、

ねずみになる子供一人或は二人定めておき、ねず

みは圓の内に、猫は圓の外におく、鬼ごっここの形を遊戯化したものとして扱ふ。猫やねずみになる

子供は一回毎に交代する。

ネコノココネコナハオズオズヤオズ

圓周上を手をつないで左に進む。

クビワノスズガ

止つて、

両手を胸のまゝところに前足の如き形におき、次第に腰をかゞめてしやがむ様にする、體は圓心にむけたままで。

チリリンリン

各々両手を床につき、匍ふ様にして自分の周圍を一周りする、

ネコノココネコナハオズオズヤオズ

圓周上を手をつないで左に進む

シズカニイツテネズミトレ

やはり圓周上を手をつないで左にすゝむが、ぬき足さし足で出来るだけ靜かに進む、足を高くあげ爪先からそつこおろす様にして。そして最後に圓の中心に向つて腰をおろし、ねこは、ねずみを追ひかける、圓周上の者は圓形の籠を作つた様な形になり、ねずみをよく逃がしたり中に入れて守つたりして、猫の入る事を防ぐ。ねずみがつかまつたら又ははじめからくりかへし行ふ。

ギッコンバツタン 戸倉ハル氏振付  
エホンシヤウカ

準備 二人づつ組み、自由な位置又は圓周上に位置をさる。

### ギッコンバツタン

二人向ひ合ひ、左足を一步前に出し、爪先で軽く床を四回たたくと同時に右手を斜下の前に出し軽く上下に足に合はせてふり乍ら人さし指で右足の爪先をゆびさす。

### オモシロイ

前と同じ動作を左手、及び右足で行ふ。

### アガツタオモヘバ

一方の者は高く上にあがつた様子をする。踵をあけ背のびをし、両手は胸のまところにあげ、拍手四回する、そして下にさがつてゐる者の方をみる。一方の

## 談話

### 第四週

者は下にさがる。力を入れてしやがみ両手は握つて體の側面の床の上につける。そして上になつてゐる者の方をみる。

### マタスゲサガル

前と同じ動作を反對の者が行ふ、上になつてゐる者は下にさがり、下になつてゐる者は上にあがる。

### サガツタオモヘバ

やはり前と同じ動作を前と違つた方が行ふ。

### マタスゲアガル

同じ動作を代つて行ふ。

### ギッコンバツタンオモシロイ

二人両手に向ひ合つたまゝ、ミリスキップで一周りする。